

**事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表**  
「おれんじ柳町」

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			課題の部屋とフリールームを使い分けすることで、適切なスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上の人員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			自動ドア前に送迎車を駐車するため、サイドの出入り口(スロープあり)を使用している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		管理者、児童発達管理責任者を中心に、職員への周知、徹底に努めている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			概ね年 1 回程度の実施を継続できている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は未実施。未実施については重要事項説明書へ記載している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			新型コロナウイルス感染防止のため、2020年3月より中止となっていたが、今年1月より2か月に1回のペースで再開している。 当事業所の月例会議は、支援級の利用児が増え、下校時間が早いうえにまちまちのため、終礼の時間を利用し、毎月短時間で行うようにしている。その中で支援方法など共通理解を図っている。 また、技能不足、支援の仕方について困難さがある職員には面談を行い、その中で子どもとの関わりや声掛けについて指導している。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画作成時以外でも随時、必要に応じて保護者と連絡を取り合い計画作成につなげている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人内で、オリジナルの様式を作成し、使用している。

適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			長期休暇中の活動を各職員が企画、立案し月例会議にて検討し、利用児に提供している。子どもたちの意見を反映する場合もある。その他いくつかのプログラムを用意し毎月行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月の活動は利用児に合わせて曜日を工夫したり、学校行事等その時々の様子に合わせている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用児の特性、興味などを理解し、サービス提供している。時間の限られている授業後では行えない内容は、長期休暇中に行うようしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者からの聞き取りで利用児の様子を把握し、利用状況を考慮し計画作成を行っている。 また、5領域にも関連づけて目標設定を行っている。
	⑮	支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			複数の学校への送迎に出ており、下校時間がそれぞれ違うため事前の打ち合わせをすることが難しい。前日の終礼時、職員間で翌日の確認を行っている。終礼の内容は毎日伝達ノートに記録し、勤務外の職員には当日確認をしてもらっている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			毎日終礼を実施している。勤務外の職員がいる場合は、伝達ノートを確認してもらっている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の様子、状態の変化などについて記入している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			支援に関わる職員全員から情報を収集し計画の見直しにつなげている。
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			利用児の特性、状況に合わせ、創作活動、調理、社会見学、地域の施設の活用など実施している。卒業生との交流や、ボランティアの方々との交流も毎月行い、長期休暇には毎年学生ボランティアの受け入れを実施している。

関係機関や保護者との連携

⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児童発達支援管理責任者が出席している。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			通学する学校毎に年間行事の予定をいただいている。日々の行事については、保護者とのメールやお便りにて情報をいただいている。連絡調整についても問題なくできている。 また、長期休暇に『お仕事体験』等に参加された場合は、報告書を学校にも提出していただいている。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				医療的ケアの必要な利用児の利用実績なし。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	相談支援事業所と保護者から情報を得ている。就学前の機関との情報共有は出来ていない。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	移行時に情報提供をした実績はない。移行時以外で情報の提供依頼のある場合は対応している。また、移行時に情報提供を求められた場合に対応できるよう準備している。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	市内の中西部地区発達障害者支援センターと連携を図っていきたいと考えている。 島田市福祉課等が企画する研修へは積極的に参加をしている。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか			○	放課後児童クラブとの交流はない。障がいのない子どもとの活動については、外出先の公園、施設などで一緒になる事がある。 当法人で行うイベントなどで一緒に活動する機会がある。 年に1回(長期休暇)、中高生のボランティアを6名程度受け入れている。また、長期休暇には大学生にアルバイトをお願いしている。
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	島田市自立支援協議会のこども部会へ参加している。

関係機関や保護者との連携	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日頃の様子、変化など常に保護者と情報交換をしている。 また、新たに取り組む活動などは事前に保護者に細かく情報をいただくようしている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		サービス提供時に発見した良い対応方法や、成長が見られたことなどをお伝えし、保護者と共有するよう努めている。 前年度から、保護者会として、保護者向けの研修も年に2回程度実施している。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		保護者には契約時に十分な時間を設けていただき、説明をさせていただいている。 また、報酬改定や加算の変更があった場合は、その都度説明させていただいている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談があった際は面談時期以外でも随時、相談に応じている。依頼があれば、保護者だけでなく、祖父母やきょうだいとの面談も行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		前年度から保護者会を実施している。アンケートなども行い、保護者が知りたい情報や勉強会などをリアルタイムに行えるよう努めている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情解決のための受付、相談窓口、第三者委員についてのチラシを事業所の目につく位置に掲示している。その旨、契約時に保護者へお伝えしている。また、苦情について、事業所内の努力等で解決できるものについては早急に対応している。
	③⑭	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		法人の発行する、「うえるびー通信（月1回発行）」にて事業所のお知らせ、予定などを発信している。特別なイベントがあり、通信枠だけでは様子がお伝え出来ない場合は、柳町だけの『号外』も発行している。

保護者への説明責任等	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		細心の注意をはらい扱っている。また、職員は雇用時に誓約書の提出をしてもらい、遵守してもらっている。法人内研修においても外部講師を招いて、学ぶ機会を設けている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		マカトンサインやジェスチャー、視覚的にわかる方法などで意思疎通に努めている。また、声掛けや支援の中で成功した方法などについては、必ず保護者と共有している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか		○	地域のボランティアの方に来所いただき、読み聞かせ（2団体）、ドックセラピー（お二人）などで関わっていただいている。 土曜開所で調理を行う際は、卒業生や入所中の児童にも参加してもらい、交流を行っている。 ハロウィン等のイベントを行う場合は、保護者だけでなく地域の方や、おれんじを使っていない方、利用を考えている方など、多くの方に参加していただけるものを計画している。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルの策定、職員への周知は概ね出来ている。職員へは研修などを通じ周知を図っている。保護者へは契約時にお伝えしている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に1回以上の研修実施、その他外部研修への参加、参加依頼等している。 また、虐待防止委員会の内容を職員に周知している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	契約時に身体拘束についての説明をし、ご理解いただいている。身体拘束の原則について研修などを通じ職員への理解を図っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者にリスク対応表へ記入してもらい対応をしている。

非常時の対応	④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		<p>ヒヤリハットについては、毎日の終礼で確認し合っている。ヒヤリハットがあった場合は、その場を担当していた職員に報告書の作成を依頼している。提出された報告書については全職員で共有したのち、ファイリングしている。</p> <p>また、法人内で毎月行われる管理者会議内でも共有している。</p>
--------	---	----------------------------	---	--	--